

# 職員視察研修でメーサイ市民らと交流

城西病院グループは、4月12日から18日の日程で結城市と姉妹都市を締結しているタイのメーサイ市などを訪問しました。職員や病院関係者、前場文夫市長ら総勢40人が参加、日本から贈ったはしご車の贈呈式に出席したり、城西病院と友好病院を締結している国立メーサイ病院やすばる日本語学校、メーサイ市役所などを訪問し、メーサイ市民らとの交流を深めました。

はしご車の贈呈式は、平成27年秋に2台目として公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIFF）」を通しメーサイ市に贈られたΣ式折り畳みはしご車の到着を祝って行われました。1台目のはしご車は平成26年11月にタイに到着。到着後、すぐに発生したメーサイ市での山火事で活躍し、2台目を要望されていました。式典にはメーサイ市のサライヨン・スリサムート市長やメーサイ郡を統括するチュティ



前場市長、多田理事長ら一行に説明をするスラ院長（左から）

デート・ミーチャン郡長、前場文夫結城市長、多田正毅理事長らが出席しました。また、一行は、メーサイ市役所の一角に設けられた「すばる日本語学校」を視察。小池とし校長や教師の権藤省吾さんらの説明を受けました。

メーサイ病院では、スラ・クンコンカーバン院長が、病院の概要について説明。タイの正月行事で一行を厚くもてなしていただきました。

メーサイ病院は、タイとミャンマーの国境地帯のメーサイ市に立地し、タイ、ミャンマーの約12万9700人を対象に医療活動を展開。2006年から10年、大メコン流域地区メディカルトレーニングセンターとしてタイ、ミャンマー、ラオス、ベトナムの医師など107人が研修。現在は、医師11人、看護師107人などスタッフ350人で、入院は年間10500人、外来は214600人で、ミャンマー人が4割近くを占めている状況が説明されました。

平成28年4月20日



IIFFを通して贈られたはしご車の寄贈式



すばる日本語学校の状況を視察する一行

はしご車贈呈式やメーサイ病院、すばる日本語学校など視察